講義科目名称: 構造力学2 A2-C09-30 科目コード: 20020

英文科目名称: Structural Mechanics 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分	科目必選区分		
2年前期		2	2	必修(教職』	必修(教職必修)		
担当教員			1				
崔琥							
添付ファイル		1		"			
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
講義概要	物の反力する知識増進させ	構造力学・演習1で習得した構造力学の基礎知識や静定梁の応力計算スキルをもとに、本授業では各種静定構造物の反力と応力の求め方や、静定梁の変形の解法を学習し、構造物の設計に必要とされる構造力学の基本に関する知識を習得することを目的とする。多くの演習問題を宿題として与え、計算力をつけることで学習意欲を増進させたい。 キーワード:力学、静定ラーメン、静定トラス、静定アーチ、たわみ					
授業計画	2	授【・・・定【方【ノき【静・の【の【度【メ(静【・・【】業講建授構」授を準一る課的 構応授断準と課ン私定片「「授進ガ義築業造、業復備トよ題梁 造力業面備ひ題ト③ ラ持ラ各業備イの構の力「目習学おう】の 力円目性学ず】・・「ち」種目学	ダ立造全学単票(図よこ各 复学 票質習み各断山メ梁メ帯票習 ダ立造全学単票(図上です種習・、】や】度種面④ン型ン重】、 おけすな習おた、上字。荷(演「新各・」、荷係)のラのを各おけすな習おな私によき。重)習材た種値に、重数 反一定受種を入び、ででいて、一定ででの構図ができまない。といるは、大きないででは、これで、大きないでは、これで、大きないでは、これでは、大きないでは、これでは、大きないでは、これでは、大きないでは、これでは、大きないでは、は、いきないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは		梁の復習(その1)】 学科カリキュラムに対する位置づけの説明 ハ」、「支点・節点・安定・不安定と静定・不静の の復習、構造力学の基本となる静定梁の反力と応力の求め 该当説明動画を見ながら、構造力学・演習1の授業 造」、「力」、「支点と反力」、「応力」が説明で き梁の反力と応力の応用問題の計算(AL③、AL④) よびゲルバー梁の反力と応力」、「応力度とモール 面力」の復習、構造力学の基本となる静定梁の反力と応力、材料 ①、AL②) 変当説明動画を見ながら、テキストP34~54の「応力 きるようにする。 ゲルバー梁の反力と応力、図心・断面2次モー 大曲げ応力度、最大せん断応力度の応用問題の計算		
	4	AL(4) 静単ラー/ 『単二 ・「「各種科 ・「授備学 ラーメン」	メンの反力および 型ラーメン】 ち梁型ラーメンの 肯重を受ける単純 票】各種単純梁型 引 i-Learnにアッ が説明できるよ	応力(2) 反力および応力」 梁型ラーメンの反 ラーメンの反力お ップロードされる うにする。	の求め方の復習 「力および応力」の説明・計算 らよび応力の求め方を習得(AL①、AL②) 亥当説明動画を見ながら、テキストP27の「単純梁型		
	5	静定ラー/ 【3ヒンジ ・「幹純』 ・「各種/ 【授備学 【3ヒンジ	メンの反力および ジラーメン】 梁型ラーメンの反 肯重を受ける3と3 票】各種3とンジラ 習】i-Learnにアッ ジラーメン」が説明	応力(3) 力および応力」の ノジラーメンの反力 ラーメンの反力およ フロードされる記 月できるようにする	カおよび応力」の説明・計算 よび応力の求め方を習得(AL①、AL②) 亥当説明動画を見ながら、テキストP27~29の		
	6	静定ラー/ 【3支端ラ ・「3ヒン ・「各種/ 【授備学 【3支端ラ	メンの反力および ーメン】 ジラーメンの反う 労重を受ける3支域 票】各種3支端ラー 習】i-Learnにアッ ーメン」が説明っ 各種荷重を受ける	応力(4) 力および応力」の対 ポラーメンの反力お ーメンの反力および ップロードされる記 できるようにする。	求め方の復習 および応力」の説明・計算 び応力の求め方を習得(AL①、AL②) 亥当説明動画を見ながら、テキストP32の		

静定トラスの反力および応力(1) 【クレモナ図法による静定トラスの反力および応力】 ・「静定ラーメン」の求め方の復習 ・「静定トラスとは」、「静定トラスの種類」、「静定トラスの解法」の説明 ・「クレモナ図法による静定トラスの反力および応力」の説明・計算 【授業目標】クレモナ図法による静定トラスの反力および応力の求め方を習得(AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP24の「クレモナ図解法」が説明できるようにする。 【課題】クレモナ図法による静定トラスの反力および応力の応用問題の計算(AL③、AL④) 静定トラスの反力および応力(2) 【節点法による静定トラスの反力および応力】 ・「クレモナ図法による静定トラスの反力および応力」の求め方の復習 「節点法による静定トラスの反力および応力」の説明・計算 【授業目標】 クレモナ図法と併せ、節点法による静定トラスの反力および応力の求め方を習得 (AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP23の「節点法」 が説明できるようにする。 【課題】節点法による静定トラスの反力および応力の応用問題の計算(AL3)、AL4) 静定トラスの反力および応力(3) 【切断法による静定トラスの反力および応力】 「クレモナ図法および節点法による静定トラスの反力および応力」の求め方の復習 「節点法による静定トラスの反力および応力」の説明・計算 【授業目標】クレモナ図法および節点法と併せ、切断法による静定トラスの反力および応力の求 め方を習得 (AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP25の「節点法」 が説明できるようにする。 【課題】切断法による静定トラスの反力および応力の応用問題の計算(AL③、AL④) 静定アーチの反力および応力 10 【各種静定アーチの反力および応力】 ・「静定トラスの反力および応力」の求め方の復習 ・「片持ち梁型アーチ・単純梁型アーチ・3ピンアーチの反力および応力」の説明・計算 【授業目標】各種静定アーチの反力および応力の求め方を習得(AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、静定アーチの反力および 応力の求め方が説明できるようにする。 【課題】各種静定アーチの反力および応力の応用問題の計算(AL3、AL4) 断面の応力度 【断面の各応力度】 「静定アーチの反力および応力」の求め方の復習 「軸方向応力度」、「曲げ応力度」、「せん断応力度」の説明・計算 【授業目標】断面に生じる軸方向応力度、曲げ応力度、せん断応力度の力学的意味と求め方を AL(2) 「準備学習」i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP36の「軸方向応力度と曲げ応力度」、P40~44の「せん断応力度」が説明できるようにする。 【課題】各種荷重を受ける際に静定梁の断面に生じる最大軸方向応力度、最大曲げ応力度、 最大せん断応力度の応用問題の計算(AL③、AL④) 静定梁の変形(1) 【軸方向力による変形および曲げモーメントによる変形(1)】
・「軸方向た力度」、「曲げ応力度」、「せん断応力度」の求め方の復習・静定梁の「軸方向力による変形」の説明・計算・静定梁の「たわみ曲線法(微分方程式)を用いた曲げモーメントによる変形」の説明・計算【授業目標】たわみ曲線法(微分方程式)を用いた曲げモーメントによる静定梁のたわみ角と たわみの求め方を習得(AL①、AL②)
【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP51~54の「ひずみ度と変形」、P58~61の「微分方程式による解法」が説明できるようにする。
【課題】たわみ曲線法(微分方程式)を用い、各種荷重を受ける際に静定梁に生じるたわみ角と たわみの応用問題の計算(AL3、AL4) 静定梁の変形 (2) 13 【曲げモーメントによる変形 (2) およびせん断力による変形】 ・「たわみ曲線法を用いた曲げモーメントによる変形」の求め方の復習 ・静定梁の「モールの定理 (共役梁法)を用いた曲げモーメントによる変形」の説明・計算 ・静定梁の「せん断力による変形」の説明・計算 【授業目標】モールの定理(共役梁法)を用いた曲げモーメントによる静定梁のたわみ角と たわみの求め方を習得(AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP61~67の「モールの定理」が説明できるようにする。 【課題】モールの定理(共役梁法)を用い、各種荷重を受ける際に静定梁に生じるたわみ角と たわみの応用問題の計算 (AL③、AL④) 14 仕事とひずみエネルギー(1) 【仮想仕事の原理を用いた静定梁の変形】 「曲げモーメントによる変形」の求め方の復習 「外力仕事と内力仕事」、「各力によるのずみエネルギー」の説明 「仮想仕事の原理を用いた静定梁の変形」の説明・計算 【授業目標】構造力学3で学ぶ予定の不静定構造物の計算方法である仮想仕事の原理を用いた 静定梁のたわみ角とたわみの求め方を習得 (AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP70~75の 「仕事量の釣り合いによる解法」、「仮想仕事の原理」が説明できるようにする。 【課題】仮想仕事の原理を用い、各種荷重を受ける際に静定梁に生じるたわみ角とたわみの応用 問題の計算(AL③、AL④)

	15 仕事とひずみエネルギー (2) 【カスチリアノの定理を用いた静定梁の変形】 ・「仮想仕事の原理を用いた静定梁の変形」の求め方の復習 ・「カスチリアノの定理を用いた静定梁の変形」の説明・計算 【授業目標】構造力学3で学ぶ予定の不静定構造物の計算方法であるカスチリアノの定理を用いた静定梁のたわみ角とたわみの求め方を習得 (AL①、AL②) 【準備学習】i-Learnにアップロードされる該当説明動画を見ながら、テキストP76~79の「カスティリアノの定理」が説明できるようにする。 【課題】カスチリアノの定理を用い、各種荷重を受ける際に静定梁に生じるたわみ角とたわみの応用問題の計算 (AL③、AL④) 16 試験
授業形態	講義と演習/宿題 アクティブラーニング:①:15、②:15、③:15、④:15、⑤:0、⑥:0
達成目標	1. 静定ラーメン、静定トラス、静定アーチといった静定構造物の解法全般が理解できる。(基礎) 2. 部材断面の力学的性質を理解し、各種断面力の計算ができる。(基礎) 3. 静定梁のたわみ角とたわみを求める各計算方法を理解し、各方法によるたわみ角とたわみが計算できる。(基礎) 4. 不静定構造物の計算方法である仮想仕事の原理やカスチリアノの定理を用いた静定梁のたわみ角とたわみが計算できる。(応用)
評価方法・フィー ドバック	提出課題 (30%) 、定期試験 (70%) の総合成績で評価する。各課題については毎回採点後返却し、結果を フィードバックする。
評価基準	秀(1~4):90点以上、優(1~4のうち3項目):89~80点、良(1~3):79~70点、可(1~2):69~60点、 不可:59点以下
教科書・参考書	【教科書】津田和明、丸田誠、杉本訓祥、都祭弘幸著「基本からマスターできる建築構造力学」、朝倉書店 【参考書】i-Learnにアップロードする動画、資料配布
履修条件	構造力学・演習1を履修済みのこと。
履修上の注意	講義には必ず出席すること。また、構造力学の基本的な知識を習得してほしい。
準備学習と課題の 内容	授業計画中に記載されている「準備学習」の内容(1.5時間)を必ず行うこと。 授業計画中に記載されている「課題」の内容(1.5時間)を必ず行うこと。「課題」は次回の講義に回収する。
ディプロマポリ シーとの関連割合 (必須)	知識・理解:30%、思考・判断:20%、関心・意欲:25%、態度:15%、技能・表現:10%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	